

住商アグリビジネス通信

2015年 秋季号

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
今回の住商アグリビジネス通信では、弊社大牟田工場のご紹介をさせていただきます。8月1日～9月11日の定期修理を経て、品質向上のため新たな取り組みを進めていますので、弊社工場のPRを含めご紹介させていただきます。



大牟田工場

弊社大牟田工場はBB工場です。
大牟田工場の最大のメリットは小ロット(500袋～)生産が可能な点です。この事で、土壌診断や作物の生育に基づき配合設計し、地域やお客様の圃場にあった肥料の製造対応が細やかに行えます。弊社の土壌分析室、技術普及グループ、営業と連携し、お客様の作物栽培に貢献できれば幸いです。
ご要望があれば、弊社営業員にお問い合わせください。

大牟田工場は、本年9月に新しく自動包装機と20kg計量機を更新致しました。製品の異物混入を従来より減らすため、20kgの計量機に篩いを付け品質向上を目指します。また、製品の固結防止対策及び製品の粉率を0.5%以下にした品質管理を行っています。

大牟田工場長 仁田原



大牟田工場は工場長以下9名で、BB肥料生産からフォークリフトを使用してトラックへの肥料の受け渡し作業等を行っております。
BB肥料を製造・販売する上で、お客様に満足していただける製品作りを目指し、品質には最新の注意を払っています。また、大牟田工場の持ち味であるチームワークを活かし、安全第一で日々の作業に取り組んでいます。

大牟田工場一同



お客様のご要望を大切に、農作物の収量・品質を上げていただける取り組みを続けて参ります。今後とも宜しくお願い致します。

展着剤って何だろう？

農薬に十分な効果を発揮させるためには、散布した薬剤が対象作物の細かな隙間にもいきわたり、均一に付着する必要があります。この働きをするものが展着剤です。作物ごとに、水稲やキャベツのように「濡れが悪い」ものと、キュウリなどのように比較的「濡れが良い」ものに分けられ、それにより薬液量や展着剤濃度を考えるのが効果的な防除の第一歩です。

◆ 作物の濡れの良し悪し区分

区 分	作 物 例
濡れの悪い作物	イネ、ムギ類、ダイズ、ネギ類、サトイモ、キャベツ、アスパラガス など
濡れの中程度の作物	トマト、ナス、イチゴ、メロン、ブドウ など
濡れの良い作物	サツマイモ、トウモロコシ、インゲン、キュウリ、ナシ、茶、カキ、ミカン など

◆ 展着剤の種類(展着剤は働きにより次の3つに分けられます)

① 一般展着剤(展着効果)

散布液の表面張力を下げることで、濡れ・広がりを良くする働きをもちます。しかし、加用量が多すぎると逆に付着量が減り、効果が低下する事があります。



展着剤加用



無加用

② 機能性展着剤(浸透効果)

植物、害虫、病原菌などの表面を「濡らす力」と「表面から内部へ浸みこませる力」の2つの働きをもつものです。散布する農薬により相性の良し悪しがあります。

③ 固着性展着剤(固着効果)

作物などに付着した薬剤の固着性を高めて風雨による流亡を少なくし、薬剤の残効を高めます。保護殺菌剤との併用で予防効果を持続させます。

◆ お勧めの展着剤

区分	品 名	使用倍率	特 徴
機能性	アプローチBI	1,000 ~ 2,000	薬剤の浸透力を高め、効果の増強、残効の強化効果。高濃度でも薬害が出にくい。
	スカッシュ	1,000 ~ 2,000	浸透力のほか、被膜形成を示し、ダニ・アブラムシなどの気門封鎖の働きをもつ。
	まくぴか	10,000	濡れ・広がりが良く、乾きが早いので薬剤の汚れが目立たない。
一般	グラミンS	4,000 ~ 10,000	濡れ・広がりが良く、泡立ちが少ない。
	シンダイン	2,500 ~ 10,000	濡れ・広がりが良い。
固着	KKステッカー	2,500 ~ 3,000	濡れ・広がりが良く、雨で農薬が流れにくい。ミカン・サトイモのように「ツルツル」した葉にも、付着が良い。

◎農薬の効果を最大限引き出すには、農薬・作物の性質、状況を把握することが大切です。

◎農薬には下記の通り適切な混用順があります。

混用順：展着剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ フロアブル剤(=DF) ⇒ 水和剤

その他、詳しくは営業員までお問い合わせください。

参考「新版 ビシャツと効かせる農薬選び便利帳(岩崎力夫著)」「展着剤の基礎と応用(川島和夫著)」



住商アグリビジネス株式会社